

## 第 章 実現化に向けて

## 1 . 段階的なまちづくり施策の展開

### 1-1 まちづくりの展望

この「都市計画マスタープラン」は、平成 32 年を目標とした計画になっていますが、“まちづくり”は更に長期的な対応をもって臨むことが必要です。

平成 13 年から平成 22 年までの前期計画の期間においては、まちの大きな骨組みとなる都市基盤等の整備を進めてきました。都市計画道路を始めとする幹線道路や橋りょう、歩道の整備、道幅の狭い道路の拡幅による交通環境の充実、公共下水道の整備など、総合的な生活環境の整備とともに、観光レクリエーション拠点の形成を進めてきました。

更に、今後、第 章までに示す「全体まちづくり方針」や「地域別まちづくり方針」に沿って、整備等を実施する事業については、平成 23 年から平成 32 年までの後期計画の期間において、段階的に目標を設定し、まちづくりを進めていきます。

### 1-2 期別の主要な施策

#### ( 1 ) 後期計画 ( 平成 23 ~ 32 年 )

後期計画の期間には、前期計画より継続している都市基盤等の整備が進められるとともに、都市計画道路の沿道や土地区画整理事業により都市基盤が整備された市街地で、住宅や商業施設が立地し始め、人々の生活する活気のある街並みが徐々に形成されていく時期です。前期計画での市民参加の仕組みづくりを活かし、市民と協働のまちづくりを進めるため、各種プロジェクトへの市民の参画を進めます。

#### 魅力ある拠点づくり

秋川駅周辺では商業・文化や生活情報発信の場を形成し、武蔵五日市駅周辺では観光レクリエーションの玄関口としての整備を進め、“まちの顔”として魅力のある交流拠点の整備を進めます。

東秋留駅周辺では、駅前道路や駅前広場の改善、ゆとりを持って買い物ができる商店街の環境づくりなど、生活拠点としての整備を進めます。

また、十里木・長岳地区では観光レクリエーションの拠点として、自然豊かな景観の整備を進めます。

#### 【主な施策】

- ・交流拠点の整備 ( 秋川駅周辺、武蔵五日市駅周辺 )
- ・生活拠点の整備 ( 東秋留駅周辺 )
- ・観光レクリエーション拠点の整備 ( 十里木・長岳地区 )

### 新たな市街地の整備

秋川高校跡地から富士通（株）あきる野テクノロジーセンターまでの区域は、産業拠点における中核をなす区域となることから、周辺環境との調和と共生に配慮した産業系市街地の整備を進めます。

武蔵引田駅の周辺地区では、土地区画整理事業により、総合的な都市機能を持った新たな産業系複合型市街地を形成します。なお、形成にあたっては、旧秋川高校周辺の産業系市街地整備と連携を図りながら、産業・業務地、商業地、住宅地、農地をバランスよく配置し、職住近接による利便性の高い市街地の形成を図ります。

また、あきる野インターチェンジ周辺は本市の玄関口として、圏央道の高い交通利便性を活用し、新たな産業系市街地の整備を進めます。

南小宮地区では、「あきる野市営住宅ストック総合活用計画」に基づき、真に住宅に困窮する世帯に対し必要戸数を直接確保するとともに、高齢者や障がい者が安全に生活を営める市営住宅の整備を進めます。

#### 【主な施策】

- ・産業系市街地の形成（旧秋川高校周辺地区、初雁地区）
- ・産業系複合型市街地の形成（武蔵引田駅北口地区）
- ・住宅系市街地の形成（南小宮地区）

### 快適で安心できる生活環境整備

土地区画整理事業により新たな市街地が形成される地区では、誘致圏に基づいたバランスのよい公園整備を進めます。

二宮地区では、地区整備計画の決定による住区道路の整備や、建物の規制・誘導などにより快適な生活環境の整備を進めます。

公共下水道は、引き続き市街化調整区域における事業認可区域内の整備を行い、より快適な生活環境の整備を進めます。

#### 【主な施策】

- ・公園緑地の整備
- ・二宮地区地区計画の推進
- ・公共下水道等の整備

### 資源循環型社会の構築

最終処分場の延命策として、増え続けるごみの減量化・資源化（リサイクル）を進めてきました。

今後も、ごみの減量化・資源化を進めるとともに、循環型社会の実現化を図るため、新たなごみ処理施設の建設を進めるとともに、リサイクルセンターを設置します。

【主な施策】

- ・ごみ処理施設の建設及びリサイクルセンターの設置

交通機能の強化

前期計画から継続している都市計画道路などの整備事業を進めます。また、JR五日市線の複線化に向けて駅舎や施設の改良を促進します。

歩道の整備や道幅の狭い道路の拡幅により、安全で安心できる交通環境の整備を進めます。

市内循環バスは運行を継続するとともに、地域住民との連携による新たな運行手法を検討します。

【主な施策】

- ・都市計画道路などの整備（秋3・3・4号森山平沢線、秋3・4・5号平沢平井線、秋3・4・13号引田平井線、秋3・4・14号八龍狩宿線、秋3・5・7号館谷狩宿線）
- ・武蔵増戸駅南口地区まちづくり道路整備事業の推進
- ・JR五日市線の駅舎と施設の改良及び複線化の促進
- ・市内循環バスの運行

水と緑に恵まれた生活環境づくり

「郷土の恵みの森構想」との整合を図りながら、崖線の緑や湧水、森林などの豊かな自然環境の保全と活用を図ります。

【主な施策】

- ・崖線の緑地保全（特別緑地保全地区の指定）
- ・保存緑地、公開緑地の指定
- ・多面的機能を活かす環境の森づくりの推進

(2) 後期計画以降の目標（平成33年～）

後期計画以降に展開が見込まれる事業は、構想段階のものです。

骨格となる都市計画道路が開通し、主要な市道などの整備も進み、快適で安全な道づくりが進行します。また、土地区画整理事業などが完了し、駅周辺の商業の活性化や圏央道のインターチェンジ周辺に新たな産業の集積が進むなど、住み続けたいまちとして活気にあふれた都市が機能しています。

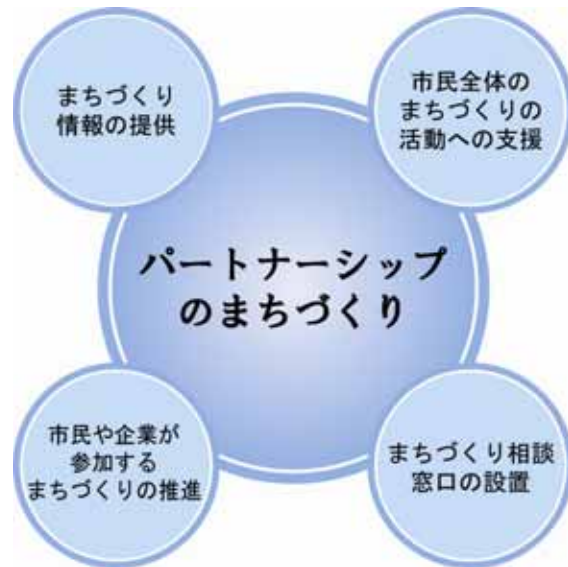
## 2 .「都市計画マスタープラン」の推進に向けて

### 2-1 パートナーシップのまちづくり

まちづくりは、市民・企業・行政が、市や地域に対する共通の認識と目標を持ちながら、協力関係（パートナーシップ）を結び、それぞれの責任の下に役割と責任を分担することによって実現に近づいていきます。

このため、まちづくり情報の提供、市民参加の推進、市民のまちづくり意識の高揚や自主的なまちづくり活動への支援などに積極的に取り組んでいきます。

パートナーシップのまちづくり運営



#### (1) まちづくり情報の提供

きめ細かな情報提供をするため、広報紙やインターネットのホームページを使ってまちづくり情報の提供を行います。

特にホームページについては、簡単に情報の検索や入手ができる利点を活かし、まちづくり施策の紹介や各種事業の進捗状況などの掲載を行うなど、市民に有益な情報提供を進めます。

あきる野市公式ホームページ

<http://www.city.akiruno.tokyo.jp/>



( 2 ) 市民主体のまちづくり活動への支援

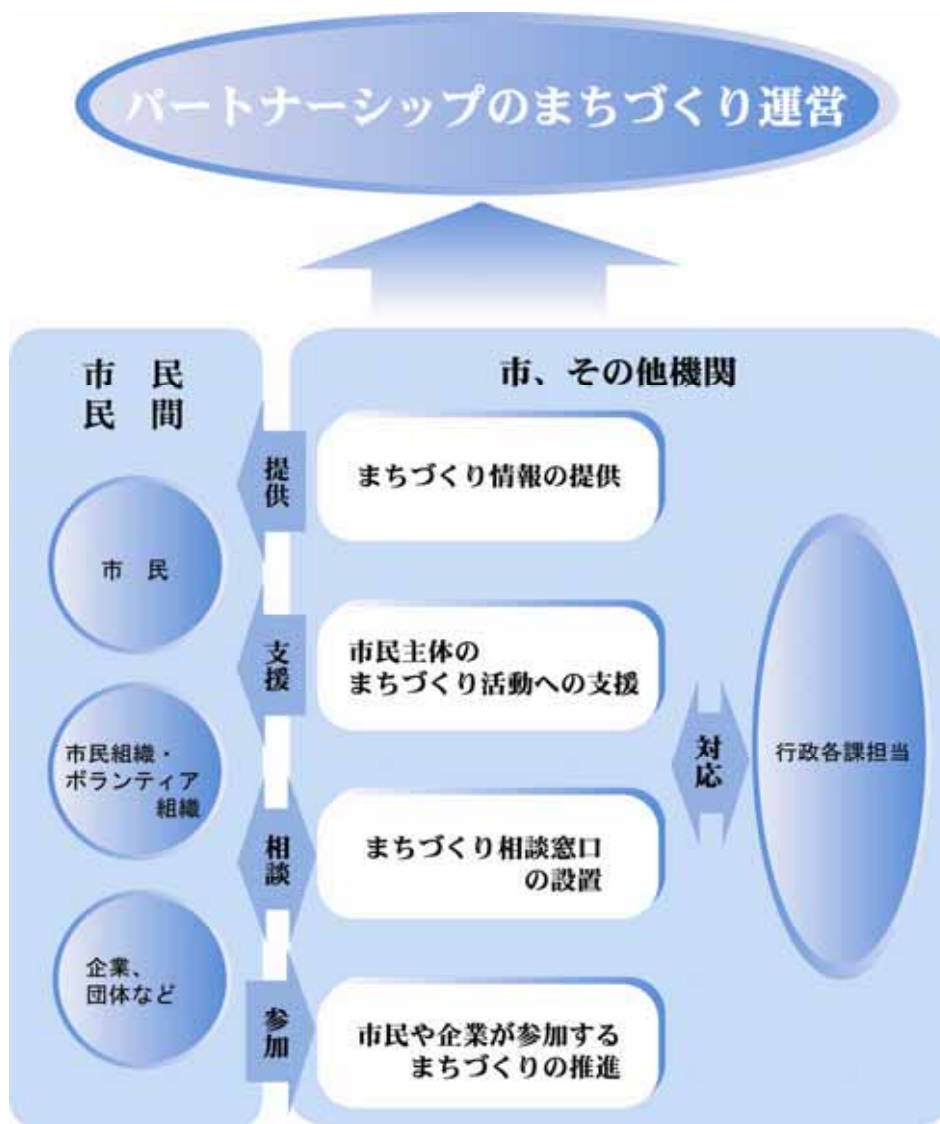
活発なまちづくり活動をしている市民組織やボランティア組織の活動を活かす仕組みづくりの検討を進めていきます。

また、市民がまちづくり団体を組織する場合の支援方法などについても幅広く検討し、多くの市民がまちづくり活動に参加できる機会の創出を図ります。

( 3 ) 市民や企業が参加するまちづくりの推進

個別の事業計画づくりや施設の整備などに当たっては、できるだけ市民や企業の意見を反映させるため、それぞれの視点から見た改善点や提案などを取り入れる参加型のまちづくりを推進します。また、P F Iなどの民間活力を活用したまちづくりを検討していきます。

パートナーシップのまちづくり運営



## 2-2 実現に向けた取組

市では、この「都市計画マスタープラン」が示すまちの将来像の実現に向けて、次のような取組を行います。

### (1) 「都市計画マスタープラン」の活用

「都市計画マスタープラン」に位置付けられた“まちづくり方針”により、事業を推進するとともに、国や東京都のほか、隣接市町村、公共交通機関、企業などとの情報交換を行い、本市のまちづくりに関する理解と協力を要請していきます。

### (2) 効率的な都市整備と財源の確保

限りある財源を有効に活用し、まちづくりを段階的に効率よく進めていくため、長期を見据えた持続的なまちづくりの推進に向けて、効率的な都市整備と経済基盤を支えるための自主財源の確保に向けた整備を先行して進めます。

また、市民からの要望が強い事業については、国や東京都などの支援を求めつつ、緊急性や優先性の高いものから、順次、取組や整備を進めていきます。

### (3) 庁内体制の確立

「都市計画マスタープラン」の実現に向けた全庁的な取組と体制づくりを進めます。